＜経営計画＞【必須記入】

<経営計画>及び<補助事業計画>(Ⅱ.経費明細表、Ⅲ.資金調達方法を除く)は最大8枚程度までとしてください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．企業概要  **企業概要**  【法人名】  【代表取締役】  【所在地】  【創業】  【経営理念】  【事業内容】  【直前期年商】円  【従業員数】　名  【保有許認可】  【会社の特徴・強み】  【会社概要】  【事業概要】  【課題】  【売上内訳】（現状と目標）　  売上高構成概算   |  |  | | --- | --- | | 事業内容 | 売上高 | | 1 | 円 | | 2 | 円 | | 3 | 円 |   目標売上高構成概算   |  |  | | --- | --- | | 事業内容 | 売上高 | | 1 | 円 | | 2 | 円 | | 3 | 円 | |
| ２．顧客ニーズと市場の動向  【顧客ニーズ】  【市場動向】  【市場動向から見た未来予測と今後の方針】  【競合状況】   |  |  |  | | --- | --- | --- | | **競合** | **特徴・強み** | **自社が優位な点** | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | |
| ３．自社や自社の提供する商品・サービスの強み  【提供商品・サービスについて】  SWOT分析   |  |  | | --- | --- | | 強み | 弱み | | 機会 | 脅威 |   【顧客ニーズに対して自社の強みをどのように活かして応えるか？】  【課題】 |
| ４．経営方針・目標と今後のプラン  【ビジョン】  【経営方針】  【経営課題】  【今後の事業実行プラン】  【目標数値】  ・ビジョン達成に向けた具体的な売上、利益は？　＊千円   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 売上目標 | 粗利 | 営業利益 | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |  |  |  |  | |
| ４－２．事業承継の計画【採択審査時に「事業承継加点」の付与を希望する事業者のみ記入】  「事業承継加点」の付与を希望する場合には、以下の３項目すべてについて、いずれか一つをチェックするとともに、地域の商工会・商工会議所から交付を受けた「事業承継診断票」（様式１０）を添付すること。なお、事業承継には、事業譲渡・売却も含まれます。  （１）事業承継の目標時期　□①申請時から１年以内　□②１年超５年以内　□③５年超  （２）事業承継内容（予定） □①事業の全部承継　□②事業の一部承継（業態転換による一部  事業廃止含）  （３）事業承継先(予定)　　□①親族　□②親族以外（□(ⅰ)親族外役員・従業員、□(ⅱ)第三者（取引先等）） |

＜補助事業計画＞

Ⅰ．補助事業の内容

|  |
| --- |
| 1．補助事業で行う事業名【必須記入】（30文字以内で記入すること） |
| 2．販路開拓等（生産性向上）の取組内容【必須記入】（販路開拓等の取組内容を記入すること）  【内容】  【これまでの自社の取組との違い】  【競合他社との取り組みとの違い】  【創意工夫している点・特徴】  【具体的な実行プランとスケジュール】 |
| 3.業務効率化（生産性向上）の取組内容【任意記入】  ＊公募要領P.７に該当する取組を行う場合は本欄に記入します。特になければ本欄は空欄のままご提出ください。 |
| 4．補助事業の効果【必須記入】  ＊販路開拓等の取組や業務効率化の取組を通じて、どのように生産性向上につながるのかを必ず説明してください。  売上、社員、地域、取引先、既存顧客、社会など様々な側面での効果を記入する |

※経営計画・補助事業計画等の作成にあたっては商工会・商工会議所と相談し、助言・指導を得ながら進めてください。

※採択時に、「事業者名称」および「補助事業で行う事業名称」等が一般公表されます。

※各項目について記載内容が多い場合は適宜、行数・ページ数を追加できます。